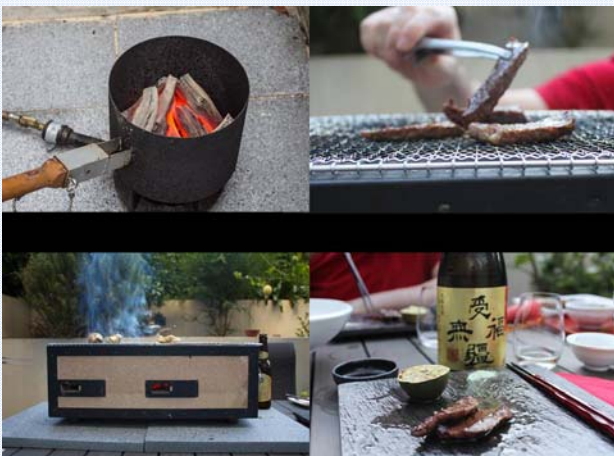




林産物の輸出取組事例集

～ 日本産木材を世界へ ～



林野庁木材利用課

はじめに

国内の森林資源は成熟期を迎え、木材利用の拡大を通じた循環利用を進めることが重要であり、住宅分野のみならず、公共建築物や企業のオフィスなどでの利用の拡大が期待されています。また、国外においては、新興国における経済発展や人口増加により、木材需要が増加することが見込まれており、こうした需要に国産材が応えていくことも期待されています。

農林水産省では、平成25年に策定した「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」における、農林水産物の輸出額1兆円目標に向けて、輸出力強化の取組を進めています。林産物（木材と特用林産物）については、平成28年の輸出額は274億円と増えてきておりますが、品目別では丸太が多いこと、輸出先に偏りがあることが課題となっております。

このような中、各地では、耐久性に優れた高温熱処理木材や、高性能木製窓製品など、林産物輸出拡大に向けた工夫ある取組が見られるようになっていきます。

この度、林野庁では、都道府県の協力を得て、各地における林産物の輸出に向けた取組事例を収集・整理し、「林産物の輸出取組事例集～日本産木材を世界へ～」として取りまとめました。今後の木材・木材製品の輸出拡大に向けた取組の参考としていただければ、幸いです。

平成29年6月

林野庁木材利用課長 玉置賢

目 次

I. 住宅用部材(構造材、内装材等)

- | | | | |
|----|----------------------------------|---------------------|------------|
| 1 | 八溝材を使用した住宅を台湾へ | (株)棟匠 | (茨城県) ……1 |
| 2 | 構造用集成材を韓国・中国・台湾へ | (株)中東 | (石川県) ……2 |
| 3 | ヒノキ・スギの在来軸組住宅を
韓国で建設 | 笠原木材(株) | (岐阜県) ……3 |
| 4 | ヒノキ・スギを中国・韓国・台湾へ | 桑原木材(株) | (愛知県) ……4 |
| 5 | 高耐久性木製品を中国へ | 越井木材工業(株) | (大阪府) ……5 |
| 6 | オール岡山で輸出を推進 | 岡山県木材組合連合会 | (岡山県) ……6 |
| 7 | 韓国にアンテナショップを開設 | 美作材輸出振興協議会 | (岡山県) ……7 |
| 8 | 藍染建材をシンガポールへ | 大利木材(株) | (徳島県) ……8 |
| 9 | 高知県産ヒノキ製材品を韓国へ | 池川木材工業(有) | (高知県) ……9 |
| 10 | 熊本県産材の輸出拡大・付加価値
を付けた木材製品の輸出促進 | くまもと県産木材
輸出促進協議会 | (熊本県) ……10 |

II. 高付加価値木材製品

- | | | | |
|----|------------------------------|----------------|------------|
| 11 | 山形県産材を使った
木製知育玩具の海外販路拡大 | (株)ニューテックシンセイ | (山形県) ……11 |
| 12 | けん玉を世界へ | (有)山形工房 | (山形県) ……12 |
| 13 | 能登ヒバを金沢港からベトナムへ | 加賀木材(株) | (石川県) ……13 |
| 14 | 国産芳香木材による高付加価値
木商品の海外販路開拓 | (株)山崎屋木工製作所 | (長野県) ……14 |
| 15 | 焼杉を韓国へ | (株)フォレストフィーリング | (静岡県) ……15 |
| 16 | 経木をメモ帳にして世界へ | (株)フォレストフィーリング | (静岡県) ……16 |

III. 丸太

- | | | | |
|----|-------------------|-----------------------|-------------|
| 17 | スギ丸太を中国へ | (株)アイザック | (群馬県) ……17 |
| 18 | スギ原木丸太を中国へ | 長野県森林組合連合会 | (長野県) ……18 |
| 19 | スギ・ヒノキ丸太を中国・韓国へ | エス・エルワールド(株) | (静岡県) ……19 |
| 20 | 木材輸出の拡大に向けた取組 | 三重県農林水産物
食品輸出促進協議会 | (三重県) ……20 |
| 21 | 内装用原木を韓国へ | (株)山一木材 | (和歌山県) ……21 |
| 22 | 紀州桧を中国で製品加工し、販売展開 | イーストライズ
トランスポート(株) | (和歌山県) ……22 |

IV. 特用林産物

- | | | | |
|----|--------------------|----------|-------------|
| 23 | 乾しいたけを台湾へ | (株)ひろの屋 | (岩手県) ……23 |
| 24 | 紀州備長炭の良さを世界へ | 紀州炭工房 | (和歌山県) ……24 |
| 25 | タケノコ・野菜水煮をASEAN諸国へ | (株)主計物産 | (福岡県) ……25 |
| 26 | 県産きのこをアジアへ | (株)オーダック | (沖縄県) ……26 |

(参考)

【都道府県の取組】

岩手県	27
岐阜県	28
静岡県	29
三重県	30
奈良県	31
岡山県	32
徳島県	33
愛媛県	34
高知県	35
福岡県	36
佐賀県	37
長崎県	38
熊本県	39
大分県	40
宮崎県	41
鹿児島県	42

I . 住宅用部材 (構造材、内装材等)

1. 八溝材を使用した住宅を台湾へ (株)棟匠(茨城県)

- 茨城県内の八溝材を住宅用部材として台湾へ輸出し、現地合併会社が木造住宅を建設、販売。
- 現地において不足部材が発生した場合、調達が困難であるため、部材を精査してプレカット製品を輸出。
- 現地の職人を育成するため、技術指導を実施。

1. 主な製品

住宅用部材

2. 主な輸出先国・地域

台湾

3. 輸出取組の概要

(株)棟匠は、茨城県内の八溝材を使用して茨城県北部の宮の郷工業団地で住宅用部材としてプレカット加工した製品を2014年から台湾に輸出し、台湾の設計会社や美容関連企業等と2013年に設立した合併会社「ゴールデン・ヘルス・ハウス」が木造住宅を建築・販売している。また、(株)棟匠は、部材の輸出だけでなく、現地での木造住宅建築に係る技術指導も行っている。

4. 輸出実績

2015年実績:2棟

(建築構造材・造作材・内装材等(スギ・ヒノキ)69㎡)

5. 課題と対応

・課題

- ①現地では在来工法による木造住宅が少ないため、建築技術や必要な工具が不足
- ②不足部材が発生した場合、現地での調達が困難
- ③輸出量が少いため、輸出コストが割高
- ④職人の人件費が高い

・対応

- ①現地での加工に過不足が極力生じないように、部材を精査してプレカット製品を輸出
- ②現地の職人を育成するための技術指導を実施
- ③輸出コストの削減につながるよう、コンテナへの効率的な梱包方法や輸出用製品の規格化を検討

6. 今後の展開

台湾で木造住宅を普及していくため、広告宣伝や見学会を実施するなどして、富裕層を中心とした販売促進に努めていく。

7. ウェブサイト

<http://www.kk-tosho.co.jp/>

8. 問合せ先

(株)棟匠 石川 忠幸(TEL:029-227-1040)



製品のコンテナへの積み込み状況



木造住宅の建築状況



完成した木造住宅の居室

2. 構造用集成材を韓国・中国・台湾へ (株)中東(石川県)

- 構造用集成材を韓国・中国・台湾へ輸出。
- 構造用集成材はプレカットして出荷し、現地での建方指導も実施。
- スギ・能登ヒバ・カラマツなどの石川県産材、国産材を提案。

1. 主な製品

構造用集成材

2. 主な輸出先国・地域

韓国、中国、台湾

3. 輸出取組の概要

- ・海外の提携・協力業者からの情報、引き合いがあれば対応し、見積もり、条件が合えば受注する。
- ・構造用集成材はプレカットして出荷。現地では建方指導も実施している。

4. 輸出実績

平成27年 2月 韓国ゴルフ場クラブハウス
米松・唐松集成材 122.2m³
平成27年 4月 台湾駅舎上屋
唐松集成材 33.7m³ 湾曲材
平成27年 11月 韓国ソウル共同住宅
唐松集成材 30.2m³
平成28年 7月 中国上海市寺院
杉集成材 67.7m³
杉化粧板 30m³
平成28年 8月 台湾台北市国民小学校校舎
唐松集成材 88.1m³
平成29年 2月 台湾駅舎上屋
米松集成材 61.4m³ 湾曲材



韓国ゴルフ場クラブハウス



中国上海市寺院

5. 課題と対応

- ・契約金額、支払いについての条件が合いにくい。
- ・図面、仕様変更が多く、契約内容が簡単に変更されてしまう。
- ・支払いの遅れ。
- ・日本の場合より運搬など全体の金額が上がってしまい、高価なものとして認識され、契約できないケースが多い。

6. 今後の展開

- ・海外からの引き合いに応じる。
- ・こちらからの提案は、特に樹種に対して、スギ、能登ヒバ、カラマツなどの石川県産材、国産材を薦めている。

7. ウェブサイト

URL <http://chuto.jp/>

8. 問合せ先

(株)中東 集成材事業部 TEL:0761-58-0100 FAX:0761-58-0210
E-Mail: info@chuto.jp

3. ヒノキ・スギの在来軸組住宅を韓国で建設 笠原木材(株)(岐阜県)

- プレカット国産材を韓国へ輸出し、木造住宅を建設。
- 在来軸組工法は認知度が低く、技術者が少ないため、日本人大工工事技術者を派遣し、木造住宅を完成。
- 今後、韓国で開催される住宅展への出展や、韓国のパートナー企業への施工技術指導等を検討。

1. 主な製品

国産材を使った木造住宅建設
・プレカット国産材の輸出
・木工事施工のサービスを提供

2. 主な輸出先国・地域

韓国

3. 輸出取組の概要

国産ヒノキ・スギのプレカット材の輸出と、日本人大工による構造、造作の施工

4. 輸出実績

H27年12月にプレカットしたヒノキ・スギ構造材18.5㎡と、羽柄材、造作材5.2㎡を輸出した。同年12月末よりH28年2月にかけて、日本人大工工事技術者2名を派遣し、木造住宅を完成させた(サービス輸出)。

5. 課題と対応

韓国では、建設される住宅のほとんどが「RC構造」であり、比率の低い木造住宅も、そのほとんどが「2×4工法」である。

日本の木材に適した軸組在来工法は、認知度が低く、施工技術者もほとんどいない。

今後、韓国内で軸組在来工法の認知度を上げること、施工技術者を育成していくことが課題である。

6. 今後の展開

韓国で開催される住宅展への出展や、韓国のパートナー企業への施工技術指導・移転。韓国内での営業強化支援を実施していく。

7. 活用した支援・施策

- ・岐阜県: 県産材競争力強化・販路拡大支援事業
- ・高山市: 匠の家づくり支援事業

8. ウェブサイト

URL:<http://www.kasahara-net.jp>

9. 問合せ先

笠原木材株式会社 住宅事業部 柳尾(やなお)
TEL: 0577-52-2525



韓国華城市に完成した
木造軸組住宅



輸出したプレカット材

4. ヒノキ・スギを中国・韓国・台湾へ 桑原木材(株)(愛知県)

- ヒノキ・スギの原木、製材品を中国・韓国・台湾へ輸出。
- 生産工場などを海外の顧客に案内し、先方の需要に沿った商品を中間業者に頼らず、直接販売。
- 海外営業の強化のため、外国語ができる社員を増やし、自社工場で研修させ営業力を強化。

1. 主な製品

ヒノキ・スギの製材品、原木

2. 主な輸出先国・地域

中国、韓国、台湾

3. 輸出取組の概要

- ・15年間の北米、ロシアからの輸入経験、昨年まで大連での製材工場の所有など、海外の木材業者とのネットワークを持つことで海外への国産材原木・製材品の販売を行う。
- ・現在は当社の生産工場などを海外の顧客に案内することで、先方の需要に沿った商品を中間業者に頼らず直接販売している。

4. 輸出実績

H28年度(見込み)

- ・ヒノキ製材品(板) 4500^m、ヒノキ原木 1000^m
- ・ヒノキ加工品 60^m
- ・スギ製材品(板) 345^m、スギ原木 320^m

5. 課題と対応

・課題

- ①輸出運賃コストのウエイトが大きい。
- ②中国・韓国など海外の展示会に参加したが、効果が薄く継続的な販売ができる顧客の開拓ができない。

・対応

- ①輸送コストの削減を図る。コンテナの容積率を上げる工夫をする。
- ②自社にて海外現地営業の強化。外国語ができる社員を増やし、自社工場で研修させ営業力を強化する。
- ③現地の需要に合った商品の生産し、商品の競争力を上げる。

6. 今後の展開

国産内装材を中心とした販売に注力していく。付加価値が高く、品質の良い製品で他社、国内・国外製品との差別化を図っていく。

7. 活用した支援・施策

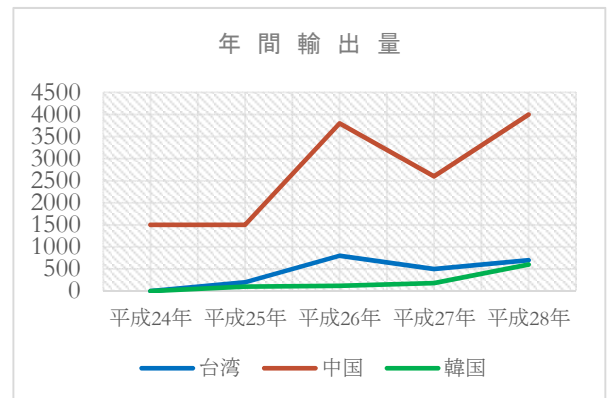
上海・杭州・仁川での展示商談会への参加

8. ウェブサイト

[Http://www.kuwabara.co.jp](http://www.kuwabara.co.jp)

9. 問合せ先

木材事業部 貿易特販部
TEL:0568-67-4046 FAX:0568-67-4763



輸出用材の倉庫風景

5. 高耐久性木製品を中国へ 越井木材工業(株)(大阪府)

- 高耐久性木製品を中国へ輸出。
- 1990年代から中国市場に注目。人材育成に取り組み、2010年に上海事務所を開設。
- ヒートアイランド対策として、日本既存試験資料を利用し、中国に木製外装材を推進。

1. 主な製品

屋外用デッキ材に使用される樹脂含浸積層板
耐久性、寸法安定性に優れた高温熱処理木材



■マクセラムPL
(中国では「越秀木-PL」)
薄い単板に特殊な樹脂を含浸し
強固に積層したウッドデッキ材。



■コセイ・スーパーサーモ
(中国では「越秀木-DT」)
高温水蒸気下で熱処理し
高い耐久性、寸法安定性を
付与した木材。主に外装材などの
屋外用途。



■スーパーパネル
(中国では「越秀木-FR」)
スギ材を使用した内装用の
防火木材。国交省大臣認定品。
不燃、準不燃、難燃の3種。

2. 主な輸出先国・地域

中国

3. 輸出取組の概要

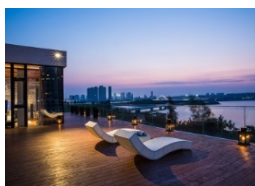
1990年代から中国市場に注目し、人材育成に取り組み、2010年、上海事務所を開設した。
自社製品を設計事務所、デベロッパーへスペックインの活動を行い販売活動を行っている。

4. 輸出実績

H27高耐久性木製品約400m³
(樹脂含浸積層板 210m³、高温熱処理木材110m³、防火木材36m³、その他40m³)



物件名:南昌「洪都」団地デッキ
商品名:マクセラム-PL(樹脂含浸積層板)
数量:860m² 受注:H28年



物件名:廈門「恒禾」団地デッキ
商品名:マクセラム-PL(樹脂含浸積層板)
数量:18,000m²(H25-今までの受注量)
受注:H25年



物件名:廈門・個人マンション外壁
商品名:コセイ・スーパーサーモ(日本杉)
(高温熱処理木材)
数量:75m² 受注:H28年

5. 課題と対応

課題:現地商習慣との違いがある。

対応:現地代理店ネットワークを構築し、代理店の地元力で対応及び現地消費者に密着した営業を
実行する。

6. 今後の展開

- ①既存代理商の維持、管理、新代理商の開拓。
- ②新商品の開発(フローリング、中産階層への商品(今までは富裕層のみ)、プレカットなど)
- ③国産材を用いた中国市場向け完成品を考案し、次のステップのために準備する。

7. 活用した支援・施策

木材輸出振興協会から支援を頂き、下記活動に参加した。

- ①「2016日中木材製品利用促進セミナー(青島)」、「青島商談会」に参加
- ②「2016日中木材製品利用促進セミナー(広州)」
- ③「2016日本産木材製品利用技術研修会(台湾)」、「日台木材台中商談会」
ヒートアイランド対策として、日本既存試験資料を利用して、中国に木製外装材を推進している。

8. ウェブサイト

www.jpkishiiwoods.com (中国)
www.koshii.co.jp (日本)

9. 問合せ先

TEL:+86-21-6236-2661(中国)
住所:中国上海市延安西路2299号上海マート11A31室
TEL:+81-6-6685-2061(日本)
住所:住所:大阪市住之江区平林北1丁目2番地158号

6. オール岡山で輸出を推進 岡山県木材組合連合会(岡山県)

- 岡山県産ヒノキ製材品を中国・韓国等へ輸出。
- 平成24年度に「岡山県産材販路推進協議会」を設置し、輸出に関するセミナーの開催や、海外の展示商談会への出展を実施。

1. 主な製品

県産ヒノキ製材品

2. 主な輸出先国・地域

中国、韓国など

3. 輸出取組の概要

岡山県木材組合連合会は、県産製材品の輸出振興に当たって、会員企業の輸出の取組を支援する目的で、県の支援を受け、平成24年度に「岡山県産材販路推進協議会」を設置し、輸出に関するセミナーの開催や海外の展示商談会への出展を行っている。

出展に当たっては、会員企業を募り「岡山県産材販路推進協議会」として出展を行い、オール岡山での取組であることをPRしつつ、輸出の経験がない会員企業の商談等のサポートを行っている。

岡山県は平成24年度以降、4年連続ヒノキの素材生産量日本一で、多くの会員企業がヒノキ製材品を主力製品としていることから、ヒノキ製材品の輸出に力を入れており、平成27年に「日本一のひのきの国・岡山」をキャッチフレーズにロゴマークを作成し、国内外における県産材の認知度向上に努めている。

連合会が支援する海外の展示・商談会への出展を契機に輸出を開始する企業が現れ、輸出量が伸びていることもあり、輸出に関心を持つ会員企業の入会や展示商談会への新規出展企業が増加している。

4. 輸出実績

県産ヒノキ製材品

(内装材、家具用材、その他板類など)

5. 課題と対応

- ・県内の中山間地域では、林業・木材産業が主要な産業のひとつであり、木材の需要拡大が課題となっていることから、林産物の輸出に対する関心のある市町村を特別賛助会員とし、情報発信を行うことにより、木材業界と行政の橋渡し役となっている。
- ・輸出の取組への効果的なサポートを行うため、韓国においてアンテナショップを拠点とした輸出の取組を行っている美作材輸出振興協議会と情報交換を行うなど連携を図っている。

6. 今後の展開

- ・新規会員の掘り起こし
- ・新たな販路を開拓先するための情報収集

7. 活用した支援・施策

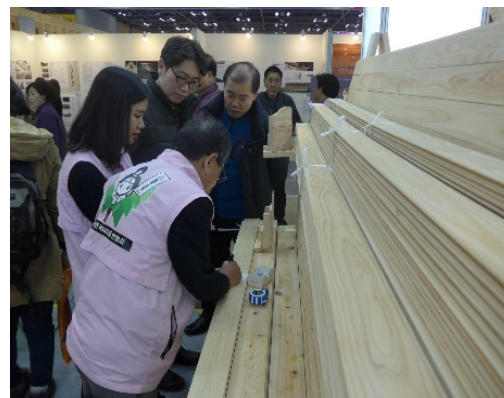
岡山県「県産ヒノキ販路開拓支援事業」

8. ウェブサイト

<http://www.pref.okayama.jp/page/487663.html>

9. 問合せ先

岡山県林政課 TEL:086-226-7452



展示会における商談状況



韓国の伝統住宅の建設現場視察

7. 韓国にアンテナショップを開設 美作材輸出振興協議会(岡山県)

- 岡山県産ヒノキ製材品・家具を韓国へ輸出。
- 平成28年から岡山県津山市の支援を受け、ソウル市郊外の城南市に常設のアンテナショップを開設。
- 経費負担等、商習慣に違いがあるため、現地バイヤーと積極的に打合せを実施。
- 韓屋(ハノク)建築用材としての利用の可能性を把握するため、情報収集を実施。

1. 主な製品

県産ヒノキ製材品・家具

2. 主な輸出先国・地域

韓国

3. 輸出取組の概要

平成24年度から、岡山県木材組合連合会が取り組む韓国等における販路拡大の取組の成果を受け、ヒノキ人気の高い韓国における情報収集と販路開拓を目的として、平成27年9月、津山圏域の木材産業関連事業者を構成員とする「美作材輸出振興協議会」が設立された。

地域の木材産業の活性化のため、より付加価値が高いヒノキの製材品や家具・建具を輸出の対象品目としている。

平成28年1月から3月に韓国ソウル市内のセレクトショップに試行的に仮設展示場を設けた後、平成28年8月、岡山県・津山市の支援を受け、ソウル市郊外の城南市に常設のアンテナショップを開設している。

地域のブランド材である「美作材」の販路開拓を旗印に、組織力の強化を図るため、津山圏域外からも参加企業を募っており、参加企業の増加が見込まれている。

4. 輸出実績

- ・県産ヒノキ製材品(内装材、家具用材、その他耳付板など)
- ・県産ヒノキ製家具、小物類等

5. 課題と対応

- ・相手国における輸送経費の決済方法や経費負担など商習慣の違いに戸惑いを感じることも多いことから、定期的に訪韓し、現地バイヤーと積極的に打合せを行っている。
- ・内装材のニーズは非常に多い反面、構造材としてのヒノキ製材品へのニーズの掘り起こしが課題となっており、韓屋(ハノク)建築用材としての利用の可能性を把握するため、情報収集を行っている。
- ・また、アンテナショップに展示している家具に対する来店者の意見を集約している。

6. 今後の展開

- ・販売拠点のある強みを活かした積極的な訪問営業の実施
- ・家具メーカー、工務店等と連携したブランドPRの実施

7. 活用した支援・施策

岡山県「県産ヒノキ販路開拓支援事業」
津山市「津山市美作材輸出支援事業」

8. ウェブサイト

<http://www.pref.okayama.jp/page/487663.html>

9. 問合せ先

岡山県林政課 TEL:086-226-7452

ロゴマーク



店舗外観



店内展示品



8. 藍染建材をシンガポールへ 大利木材(株)(徳島県)

- 藍染杉材を原料とした、建材・家具等をシンガポールへ輸出。
- シンガポールにて、徳島県産材のアンテナショップ「藍染ショールーム」を整備。
- 設計に応じて変更が生じるようなケースでも、小口空輸便の利用により対応が可能。

1. 主な製品

「県産杉」と「藍染料」のコラボレーションにより生まれた藍染杉材を原材料とした建材・家具・インテリア小物など

2. 主な輸出先国・地域

シンガポール

3. 輸出取組の概要

シンガポールで日本製衣料デザイン・販売を手がける会社が、藍染建材や小物を展示販売するショップを開設することから、藍染建材をはじめ藍染の家具や照明器具等を輸出し、「藍染ショールーム」とも言うべき県産材のアンテナショップを整備した。

4. 輸出実績

H28実績

- ・藍染建材(スギ)3.538m³
- ・その他スギ小物19点(生活雑貨品・インテリア品)

5. 課題と対応

ASEAN地域におけるハブ機能を持つ国として輸出についてのトラブルは極めて少なかった。しかも運輸関連の利便性も極めて高くなっており、設計に応じて変更が生じるようなケースでも、その対応については小口空輸便の利用が可能で、緊急な対応もできた。

6. 今後の展開

シンガポールに整備された藍染建材を発信するアンテナショップを拠点に、東南アジア諸国へ信頼の高いmade in Japan製品の販路開拓を進めたい。

7. 活用した支援・施策

県事業(H28年度徳島すぎ輸出開拓加速化事業)

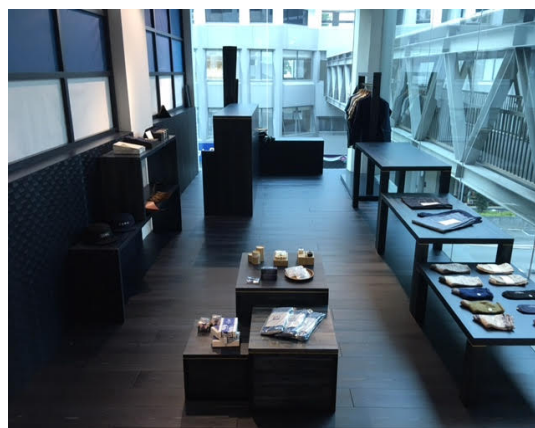
8. ウェブサイト

<http://www.dairinet.com/>

9. 問合せ先

大利木材(株)

TEL:088-662-5505/FAX:088-663-4050



藍染ショールームinシンガポール



建材以外の藍染商品



地元マスコミの取材対応

9. 高知県産ヒノキ製材品を韓国へ 池川木材工業(有)(高知県)

- 高知県産ヒノキ製材品を韓国・ベトナムへ輸出。
- 2007年に韓国でアンテナショップをオープンさせ、木製家庭用品販売開始。
- 現地スタッフを常駐させ、コミュニケーションの向上、早期の対応や情報入手を実施。

1. 主な製品

ヒノキ製材製品、ヒノキ内装材、ヒノキ集成材

2. 主な輸出先国・地域

韓国、ベトナム

3. 輸出取組の概要

1999年から、国内での加工により発生した端材の有効利用のため、ベトナム委託工場への輸出事業を開始した。

さらに、2007年には韓国でアンテナショップをオープンさせ、木製家庭用品販売を開始し、その後、2009年に韓国で開催されたINAP(友好提携港国際ネットワーク)の会合へ参加したことを契機に、「建築用材の輸出」という、より大きな貿易へと取組を拡大させている。

4. 輸出実績

H27 県産材製材品(主にヒノキ) 1,194m³

5. 課題と対応

●ベトナム

- ・工場周辺に日系企業が少ないこともあり、情報入手が遅くなる等により制度改正への対応に苦慮
→ 現地にスタッフを常駐させ、コミュニケーションの向上を図ることに注力

●韓国

- ・韓国市場での販売は、生活・建築様式の違いから日本とは製材規格が異なっており対応に苦慮
→ 加工時に発生する端材の処理検討を行い市場にあった価格を実現
→ 韓国へも現地スタッフを常駐させ、早期の対応及び情報入手を行い、Webサイト開設によりヒノキの特徴を発信

6. 今後の展開

- ・既存事業のさらなる拡大
- ・新規取引先の開拓、拡販によるリスク分散
- ・北米向け製品の試作、テスト出荷

7. 活用した支援・施策

高知県県産材輸出促進事業(平成28年度)

8. ウェブサイト

池川木材工業(有) HP
<http://www.ikemoku.co.jp/>

9. 問合せ先

〒781-1606 高知県吾川郡仁淀川町土居甲775-1 池川木材工業(有) 代表取締役 大原栄博
TEL : 0889-34-2015 FAX : 0889-34-2545



ベトナム工場とその内部



韓国のアンテナショップ

10. 熊本県産材の輸出拡大・付加価値 を付けた木材製品の輸出促進 くまもと県産木材輸出促進協議会（熊本県）

- くまもと県産木材製品等をアジア地域等へ輸出。
- 県産材PRのため海外展示会等への出展、海外バイヤー招へいによる会員との商談機会の創出。
- 会員の貿易実務のスキルアップのため「貿易基礎講座」を実施。

1. 主な製品

くまもと県産木材製品等

2. 主な輸出先国・地域

アジア地域等

3. 輸出取組の概要

- 協議会の目的（H24年設立）
 - ・県産木材の需要拡大を図るため、県内の木材生産・加工・流通及び住宅建設等に携わる関係者が相互の連携を図り、海外における熊本県産材の輸出拡大、アジア地域等を対象とした新たな販路開拓に向けて創意工夫し、付加価値を付けた木材製品の戦略的な輸出推進に努める。
 - ・平成28年度に協議会の組織を改編し、会員からの負担金により協議会を運営
 - ・会員が取り組む輸出促進活動を支援
- 木材輸出に向けた課題検討
 - ・木材輸出に関する問題点について専門家等を交えた検討会の開催
- 海外の木材マーケット調査及び現地セールス
 - ・海外市場調査及び現地セールスの実施
- 木材輸出促進のための県産材PR
 - ・海外展示会等への出展、海外バイヤー招へいによる会員との商談機会の創出



【協議会・検討会】

4. 輸出実績（H28年度事業経過概要）

- ・日本木材輸出振興協会と連携し輸出促進に向けた議論・意見交換を実施
- ・中国における輸入木材のニーズや用途についてのセミナーを開催
- ・会員の貿易実務のスキルアップのため『貿易基礎講座』を実施
- ・台北ビルディングショーへ出展し、県産木材認知度向上及び現地商談を実施
- ・海外バイヤー（中国・韓国・香港等）招へいによる商談機会を創出
- ・台湾・香港・韓国等への現地調査を実施
- ・香港等へのサンプル輸出を実施 など

5. 課題と対応

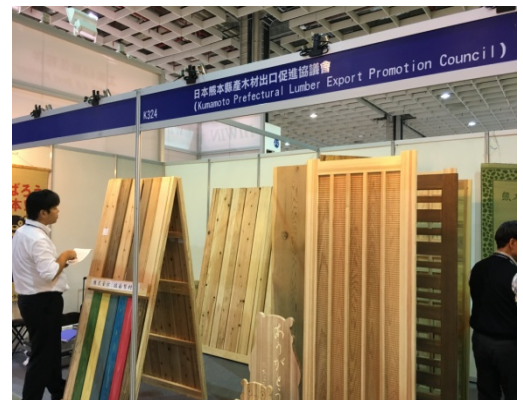
- ・今後は付加価値のある製材品輸出が重要と思われるが、国内規格との違い・価格差・要求ロット・外材との競合など課題が多いことから、協議会会員と連携し何らかの解決の糸口を見つきたい。

6. 問合せ先

くまもと県産木材輸出促進協議会

事務局 一般社団法人熊本県木材協会連合会 担当 水間(みずま)

TEL:096-382-7919 FAX:096-382-7893



【台北ビルディングショー出展】

Ⅱ. 高付加価値木材製品

11. 山形県産材を使った 木製知育玩具の海外販路拡大 (株)ニューテックシンセイ(山形県)

- 山形県産材を使った木製玩具ブロックをヨーロッパ等へ輸出。
- 2015年より海外の展示会へ定期的に出展。
- 各国独自の安全基準等を把握するため、JETROや検査機関への問合せ等を実施。

1. 主な製品

木製玩具ブロック
山形県産の未利用材を使用し、無垢材から削り出して商品「もくロック」を製作(サクラ、カエデ、カバ、ケヤキ、ホウ、シテ)

2. 主な輸出先国・地域

ヨーロッパ(EU加盟国、スイス、ノルウェー)
アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、香港、台湾、韓国

3. 輸出取組の概要

海外からの問合せ、受注に対応し2013年から海外販売を開始
また、2015年より海外の展示会へ定期的に出展



2015 Jan
Maison & Objet Paris



2017 Jan
Maison & Objet Paris

4. 輸出実績

	輸出品 (m ³)	出荷時期
平成28年度見込み	0.75 m ³	通年
平成27年度	0.72 m ³	



2016年発売開始したシリーズ

5. 課題と対応

- ・各国や地域による独自の安全基準(弊社の場合は木製おもちゃ)や、販売が可能な資格や届出などの情報が少なく、取引の問合せが来ても、現行の輸出先以外の国への販売が難しい。
→ 取引希望の相手にその国の情報の調査を依頼、JETROや検査機関に問合せ
- ・輸送に関しては費用面で安価なEMSを主に使っているが、国により関税やVATの対象となる場合があり、顧客側の対応によっては確実に相手先の戸口まで配達されない場合がある。
→ 輸送方法にEMSの他にPriority輸送の選択を増やし、戸口までの配達をより早く確実にできるようにした。

6. 今後の展開

輸出国、取引先を増やしていく、また海外販売サイトも今以上に整備し、より多くの受注を獲得する。

7. 活用した支援・施策

新輸出大国コンソーシアムなど

8. ウェブサイト

<http://mukulock.biz/>

9. 問合せ先

〒992-0021 山形県米沢市大字花沢3075-1
TEL:0238-21-3155
株式会社 ニューテックシンセイ

12. けん玉を世界へ (有)山形工房(山形県)

- ブナ・ヤマザクラを使用したけん玉を世界各国へ輸出。
- パフォーマンス用として、海外でのけん玉需要が拡大したため、輸出を開始。
- ブランディングによる販売促進が課題。

1. 主な製品

けん玉(ブナ・ヤマザクラ使用)

2. 主な輸出先国・地域

米国、香港ほか欧州、アジア20カ国

3. 輸出取組の概要

けん玉が、パフォーマンスのアイテムとして使われるようになり、海外での需要が出来たため。

4. 輸出実績

けん玉 5,000個

5. 課題と対応

ブランディングによる販売促進



日本けん玉協会認定
競技用けん玉「大空」さくらシリーズ

6. 今後の展開

競技用けん玉だけではなく、福祉用けん玉など高齢者や初心者でも取り組みやすいけん玉も紹介し、地域にけん玉が根付くような市場開拓をしていきたい。

7. 活用した支援・施策

企業間連携助成金

8. ウェブサイト

<http://www.kendama.co.jp>

9. 問合せ先

有限会社 山形工房
TEL:0238-84-6062 FAX :0238-84-6061



日本けん玉協会認定
競技用けん玉「大空」プレミアムシリーズ

13. 能登ヒバを金沢港からベトナムへ 加賀木材(株)(石川県)

- 能登ヒバ(板材)をベトナムへ輸出。
- 原料の安定供給のために、地元の森林組合や製材業者とタイアップ。
- 今後、能登ヒバの効能を全面に打ち出すため、業界の展示会などに参加し、商品を周知。

1. 主な製品

世界農業遺産の能登の里山で育った、抗菌作用のある「能登ヒバ」の下駄箱。

2. 主な輸出先国・地域

ベトナム

3. 輸出取組の概要

能登の里山から切り出された商品価値の低い間伐材を生産技術の高く、低コストで生産可能な、ベトナムで下駄箱を生産、試作を繰り返し、製品が完成した。

4. 輸出実績

平成27年度 約50m³を輸出

5. 課題と対応

- ・ベトナム国内のニーズに合った、デザイン・機能・価格の追及。
- ・原料の安定供給の為、地元の森林組合や製材業者とのタイアップを実行。

6. 今後の展開

- ・業界の展示会などに積極的に参加し、能登ヒバの効能を全面に打ち出し、商品の周知と普及に努力する。
- ・県内外の工務店や流通会社との協力による、「能登ヒバ」製品の開発、企画から製造販売を行うことで、林産業の活性化を目指す。

7. ウェブサイト

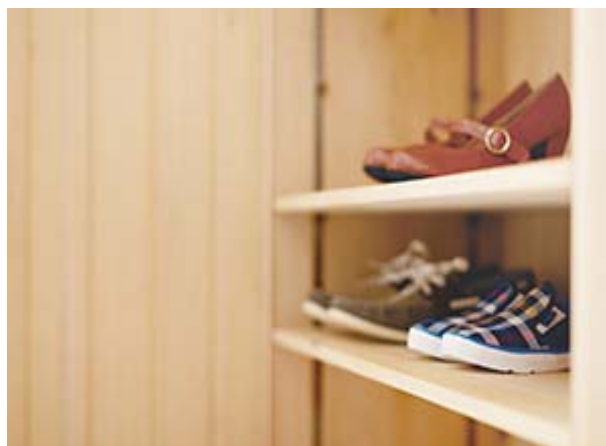
<http://www.kagamoku.co.jp>

8. 問合せ先

担当者名:木建事業部 新宅 TEL:076-238-4131



【完成した製品】



14. 国産芳香木材による高付加価値 木商品の海外販路開拓 (株)山崎屋木工製作所(長野県)

- 「木曽ひのき材」を使用した高性能木製窓製品を、北米及びヨーロッパへ輸出。
- 木製窓消費国である北米及びヨーロッパに輸出するため、製品輸出戦略を策定。
- 平成28年度より、4社連携で委員を募り、委員会等を開催し、課題や対応等を検討。

1. 主な製品

「木曽ひのき材」高性能木製窓製品

2. 主な輸出先国・地域

アメリカ、カナダ、オーストラリア
ニュージーランド、スイス、ドイツ、フランス

3. 輸出取組の概要

国内ヒノキ材のブランドである「木曽ひのき材」を使用した高性能木製窓製品を、木製窓消費国である北米及びヨーロッパに輸出するための製品輸出戦略を策定し、国産木材製品の販路拡大するものである。

4. 輸出実績

H27年度のJAPANブランド事業の戦略策定事業のため、実績はなし。

5. 課題と対応

高性能木製窓製品の販路の策定に時間を要することが想定される。又、 SHIPPING、価格策定、保証問題など課題はたくさんある。

6. 今後の展開

平成28年度、4社連携で、委員を募って委員会などを開催して、一定の成果を得てはいるが、問題の解決策、方向性の決定がなされておらず平成29年度の継続を含め検討中。

7. 活用した支援・施策

平成27年度ふるさと名物応援事業補助金
/JAPANブランド育成支援事業（戦略策定支援事業）

8. ウェブサイト

<http://www.yamazakiyamokko.co.jp/>

9. 問合せ先

〒387-0017 長野県千曲市中555-1
TEL/FAX :026-272-2765
メール : s-yamazaki@yamazakiyamokko.co.jp



製品写真

15. 焼杉を韓国へ (株)フォレストフィーリング(静岡県)

- 特殊加工した焼杉板をカラフルに塗装し、韓国へ輸出。
- 天竜の杉を世界に認知してもらう先駆けとして、カラフルで創造的な「UROCO」カラーパネルの輸出を開始。
- 静岡県と協力し、韓国展示会に出展。

1. 主な製品

特殊加工した焼杉をカラフルに塗装した板。日本国内ではホームセンター等で販売。

2. 主な輸出先国・地域

韓国

3. 輸出取組の概要

天竜の杉を広く世界に認知して貰う先駆けとして、カラフルで創造的なUROCOのカラーパネルの輸出を検討。

4. 輸出実績

H28 UROCO 約100㎡分 韓国へ輸出

5. 課題と対応

- ・韓国には、DIY需要ができ始めているが、日本のように木材を店頭で陳列しているホームセンターが殆どないため、韓国国内での流通網の開拓が困難。
- ・また、価格も送料、関税がかかるため、一般消費者が購入し易い価格に落ちない。

6. 今後の展開

韓国国内での認知度をアップし、ブランディングしていく必要がある。

7. 活用した支援・施策

県と協力して韓国展示会に出展

8. ウェブサイト

<http://uroco.org>

9. 問合せ先

株式会社フォレストフィーリング
担当:小池
E-mail: access@uroco.org



UROCO施工例



カラー 一覧



UROCO 板

(資料作成: 株式会社フォレストフィーリング)

16. 経木をメモ帳にして世界へ (株)フォレストフィーリング(静岡県)

- アカマツの経木で出来たメモ帳を世界5ヶ国へ輸出。
- 展示会出展の際に海外バイヤーから依頼があり、輸出を開始。
- 世界の経木のメモ帳として取り扱いの国を増やしていくため、特にヨーロッパへの販売を模索中。

1. 主な製品

アカマツの経木で出来たメモ帳

2. 主な輸出先国・地域

カナダ、アメリカ、スウェーデン、韓国、香港

3. 輸出取組の概要

展示会出展時に海外バイヤーから依頼があり、輸出を開始

4. 輸出実績

平成27年度 1万冊程 平成28年度 2.5万冊程

5. 課題と対応

- ・海外で複数の代理店がある場合、販売価格をしっかりと決めておかないと、トラブルが発生する。
- ・海外のAmazon等のネット通販で勝手に販売されてしまうケースが発生。海外の通販モールの出店等は、代理店を絞る必要がある。

6. 今後の展開

世界の経木のメモ帳として、取り扱いの国を増やしていきたい。特にヨーロッパへの販売を模索している。

7. 活用した支援・施策

県と協力し韓国展示会に出展

8. ウェブサイト

<http://kizarajp/>

9. 問合せ先

株式会社フォレストフィーリング
担当: 小池
E-mail: access@uroco.org



経木のメモ帳 小、中、大 サイズ



木目に沿っての切り取りができる



使用事例

(資料作成: (株)フォレストフィーリング)

Ⅲ. 丸太

17. スギ丸太を中国へ (株)アイザック(群馬県)

- スギ丸太を中国へ輸出。
- 上海の木材関連企業から日本産丸太の調達依頼があり、輸出を開始。
- 中国ニーズにあった4m材(低質材)を調達するため、システム販売により国有林4m材を確保。

1. 主な製品

スギ丸太

2. 主な輸出先国・地域

中国

3. 輸出取組の概要

- ・国有林と民有林の連携によるシステム販売を活用し、スギ丸太を上海へ輸出した。
- ・弊社が中国ビジネスを展開している中、上海の木材関連企業から日本産丸太の調達依頼があり取組を開始した。

4. 輸出実績

年度	輸出量(m ³)	輸出額(千円)
平成27年度	1,510	19,877
平成28年度	3,315	36,481



出荷時の様子

5. 課題と対応

- ・中国ニーズにあった4m材(低質材)が、群馬の丸太流通に少なく、調達に手間取ったが、システム販売により国有林4m材を確保した。
- ・丸太集積地から燻蒸地まで、丸太運搬専用車の不足を補うため、専用枠を用い汎用トラック(平ボディ)で丸太を運搬した。



輸出されたスギ丸太

6. 今後の展開

- ・輸出量を安定的に確保するため、立木等の購入から生産、流通、燻蒸等の全体事業を担う組織を新たに検討していく。

7. ウェブサイト

<http://aizacc.com/index.html>

8. 問合せ先

担当者: 青木豊治 TEL: 027-265-5735

18. スギ原木丸太を中国へ 長野県森林組合連合会（長野県）

- スギ丸太（土木用材）を中国へ輸出。
- 長野県内はスギの土木用材としての利用が少ないため、その販路先として輸出を開始。
- 長野県内の未利用材需要動向等を踏まえ、メリットのある地域から集荷及び納材を検討。

1. 主な製品

スギ原木丸太。規格4.0m 8cm上

2. 主な輸出先国・地域

中国

3. 輸出取組の概要

長野県内は、スギの土木用材の利用が少なく、その販路先として森林組合及び生産事業体と一体となり、輸送コスト面でメリットのある北信地域より直江津港経由の取組を始める。

4. 輸出実績

スギ原木丸太：H26 9,916^m H27 5,121^m H28 4,105^m
（H26ではアカマツの納材もあり）



スギ丸太はい積み状況

5. 課題と対応

- ・為替動向などを踏まえ、集荷完了時期を求められるようになっていく。1船2,200^m～2,300^mと集荷期間がかかる中で、最良のタイミングでの出荷計画を立てるのが厳しい。
- ・冬期間の港が荒れることから、積み出しが厳しい。
- ・県内の未利用材需要等、動向を踏まえメリットのある地域からの集荷及び納材を検討。
- ・材質や規格については、さほどのクレーム等はない。
- ・納入規格が土木用材（小径木）であり、検知取り等の改善が必要。



材質選定作業

6. 今後の展開

県内への安定供給を最優先し、余剰材を仕向ける。

7. ウェブサイト

<http://www.naganomoriren.or.jp/wp/>

8. 問合せ先

長野県森林組合連合会 業務課 TEL:026-226-2504



直江津港より材積み込みの様子

19. スギ・ヒノキ丸太を中国・韓国へ エス・エルワールド(株)(静岡県)

- スギ丸太を中国へ、ヒノキ丸太を韓国へ輸出。
- スギ丸太の中国輸出に関し、長野県森林組合連合会と連携し、直江津港より輸出。
- 近年国産材丸太の使用用途が拡大し、数量確保が難しいため、群馬県利根沼田地区素材生産組合に新規集積所設立を提案。2018年度稼働を目指す。

1. 主な製品

2. 主な輸出先国・地域

	長さ	径級	荷役港	向け先	用途
・スギ丸太	3.0 ~ 4.0m	8cm ~	直江津港	中国	ブロックボード
・ヒノキ丸太	2.4m	16cm ~	清水港	韓国	内装用

3. 輸出取組の概要

- ・スギ丸太
長野県森林組合連合会と組み、新潟県直江津港より上海へ輸出
- ・ヒノキ丸太
清水港を活用し、韓国向けコンテナ海上輸送



4. 輸出実績

	輸出量 / m ³			
	2014年	2015年	2016年	合計
スギ丸太	9,000	7,000	4,000	20,000
ヒノキ丸太	345	800	427	1,572

5. 課題と対応

近年国産材丸太の使用用途が増え(バイオマス・合板用・梱包用など)、求められる数量に対し数量確保が難しく、それに伴い丸太価格も上昇しており、集材に苦慮している。

6. 今後の展開

- ・スギ丸太の中国輸出に関し、長野県だけでなく群馬県利根沼田地区素材生産組合に新規集積所設立を提案し、2018年度稼働を目指している。
- ・群馬県の丸太集材量の約1/3が利根沼田地区から出材していながら集積所が近隣に無いことに目をむけ、直江津港→中国の輸出量増加に繋げる。

7. ウェブサイト

<http://www.sl-world.co.jp/>

8. 問合せ先

エス・エルワールド株式会社 TEL:054-335-5451



(資料作成:エス・エルワールド(株))

20. 木材輸出の拡大に向けた取組 三重県農林水産物・食品輸出促進協議会（三重県）

- スギ・ヒノキ等の原木を中国・台湾・韓国へ輸出。
- 輸出に取り組む機運を醸成するため、木材輸出セミナーを開催。
- 海外の需要把握のため、海外における需要調査を実施。

1. 輸出品目

スギ、ヒノキ等の原木

2. 主な輸出先国・地域

中国、台湾、韓国

3. 輸出取組の概要

平成26年3月 協議会の設立

【平成26年度】

- ・木材輸出セミナーの開催

【平成27年度】

- ・韓国・中国・台湾における木材需要調査
- ・中国の木材利用事例現地視察

【平成28年度】

- ・木材輸出検討会の開催
- ・試験輸出の実施（予定）

【取組のイメージ】



4. 輸出実績

韓国へ主に内装材用の原木、中国・台湾へ主に土木資材用の原木を輸出

5. 課題と対応

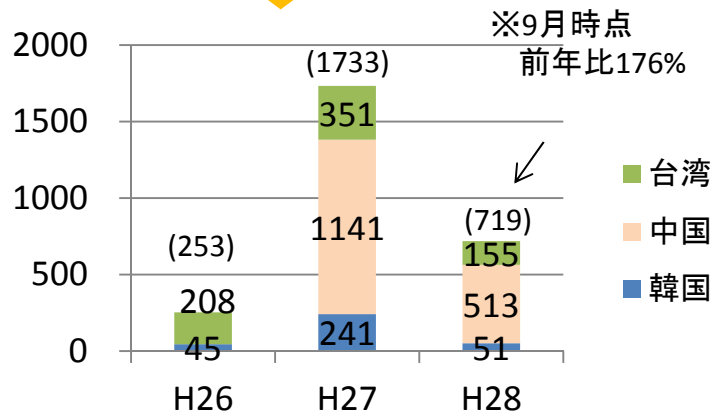
- ・輸出に取り組む機運を醸成するため、木材輸出セミナーの開催
- ・海外における需要状況を把握するため、需要調査を実施

6. 今後の展開

- ・内装材用の原木の輸出先国の拡大
- ・より付加価値の高い製品の輸出の促進

7. 問合せ先

三重県農林水産物・食品輸出促進協議会 林産部会
【事務局】三重県農林水産部 森林・林業経営課内 TEL:059-224-2563



21. 内装用原木を韓国へ (株)山一木材(和歌山県)

- マンション内装用ヒノキ原木を韓国へ輸出。
- 商社からの要望を機に、平成26年度より韓国へ輸出を開始。
- 需要に応じて規格、数量を安定供給する体制を整備。

1. 主な製品

ヒノキ原木(2.4m、16cm以上)
※ マンション内装用原木

2. 主な輸出先国・地域

韓国

3. 輸出取組の概要

商社からの要望を契機に、平成26年度より和歌山港から韓国へ輸出している。

4. 輸出実績

平成26年度から現在まで、定期的に100m³/月を輸出している。

5. 課題と対応

事業所⇄輸出対応港湾の距離が150km以上あり、価格次第という点が大い。

6. 今後の展開

需要に応じて規格・数量を安定供給する体制を整えており、今後も引き合いに応じて、対応を行っていく。

7. ウェブサイト

<http://www.yamaichimokuzai.com/index.html> (山一木材HP)

8. 問合せ先

住所:和歌山県新宮市新町二丁目1番地の5
TEL:0735-22-8115(担当:浦路)



土場状況

22. 紀州桧を中国で製品加工し、販売展開 イーストライズトランスポート(株)(和歌山県)

- 紀州桧を中国へ輸出。
- 紀州桧の品質の良さ、資源量に着目し、平成26年度より輸出を開始。
- 中国の製材所で製品加工し、中国国内と韓国へ販売。
- 安定供給を行うため、林道等整備が必要。

1. 主な製品

紀州桧(和歌山県産)

2. 主な輸出先国・地域

中国

3. 輸出取組の概要

- ・ 弊社では、紀州桧の品質の良さ、資源量に着目し、中国での製品販売を検討。
- ・ 平成26年度から紀州桧を中国に輸出開始。
- ・ 自社で和歌山県内の山林を購入し、地元の素材生産業者と連携し、丸太を搬出。
- ・ 和歌山港から上海港に運び、中国の製材所で製品加工し、中国内と韓国へ販売。

4. 紀州桧輸出実績(平成26年度より丸太の輸出開始)

H26 332m³
H27 949m³
H28 1,683m³

5. 課題と対応

- ・ 出材コストの削減
- ・ 安定供給を行うための林道整備等
- ・ 材及び山林の調達



丸太の搬出現場(和歌山県内)

6. 今後の展開

- ・ 地元・近郊の林業事業者・商社等との情報共有と連携強化
- ・ 中国・韓国のニーズに合わせ輸出量を増大(バルク船での輸出)
- ・ バルク船での輸出の為に近隣輸出港の要整備
- ・ 建築資材・家具等、一括生産で全て檜材使用の丸ごとリフォームをプロデュース(上海郊外にショールーム有)
- ・ 紀州桧使用の家具・雑貨(食器・まな板・おもちゃetc)製作販売



VAN詰め作業(和歌山港)
40' HQコンテナで約30m³積載可能



上海郊外のショールームと製品

7. 活用した支援・施策

- ・ 平成28年度農林水産物・食品輸出促進対策事業(第18回中国(広州)国際建築装飾博覧会に出展)

8. ウェブサイト

<http://www.eastrise-t.com/>

9. 問合せ先

担当者名: イーストライズトランスポート株式会社 櫻井
Mail: sakurai@eastrise-t.com TEL: 06-6223-5080



中国の製材工場での作業風景と製品



IV. 特用林産物

23. 乾しいたけを台湾へ (株)ひろの屋(岩手県)

- 乾しいたけを台湾へ輸出。
- 「北三陸ブランドプロジェクト」を立上げ、国内外での販売を実施。
- 経済産業省の事業を活用し、台湾のバイヤーを生産現場へ招き、勉強会を実施。

1. 主な製品

乾しいたけ(どんこ)

2. 主な輸出先国・地域

台湾

3. 輸出取組の概要

北三陸の水産物を販売拡大させることを目的として、「北三陸ブランドプロジェクト」を立上げ、国内・海外での販売を実施。その中で、新たに洋野町特産の乾しいたけの輸出を視野に取組を行っている。

4. 輸出実績

平成27年度 洋野町産乾しいたけ 100~120kg

5. 課題と対応

【取組む際に生じた課題】

交渉の際、洋野町産乾しいたけの品質の良さを説明したが、理解が得られず交渉が難航。

【生じた課題に対する対応】

経済産業省の事業を活用し、台湾のバイヤーを生産現場へ招き、洋野町の乾しいたけについて理解を深める勉強会を実施。

【対応の結果】

洋野町の乾しいたけの品質の良さが台湾のバイヤーに伝わり、交渉が成立。



台湾のバイヤーとの交渉

6. 今後の展開

- ・香港への取引先拡大を目指す。
- ・生産者に対し、海外へ食材を発信・輸出する際のポイントや注意点を学ぶセミナーを開催し、海外取引の拡大を図る。

7. 活用した支援・施策

「平成27年度JAPAN育成支援事業」

8. ウェブサイト

<http://hirono-ya.com/>

9. 問合せ先

株式会社 ひろの屋

担当者:鈴木

TEL:0194-65-5556 FAX:0194-65-4432



台湾のバイヤーによる
生産現場の視察

24. 紀州備長炭の良さを世界へ 紀州炭工房(和歌山県)

- 紀州備長炭をオーストラリア・カナダへ輸出。
- メーカーから依頼があったことにより、平成27年より輸出を開始。
- 実際に使用されているエンドユーザーのフィードバックを知る体制を確立。

1. 主な製品

紀州備長炭(切丸・割り)

2. 主な輸出先国・地域

オーストラリア、カナダ

3. 輸出取組の概要

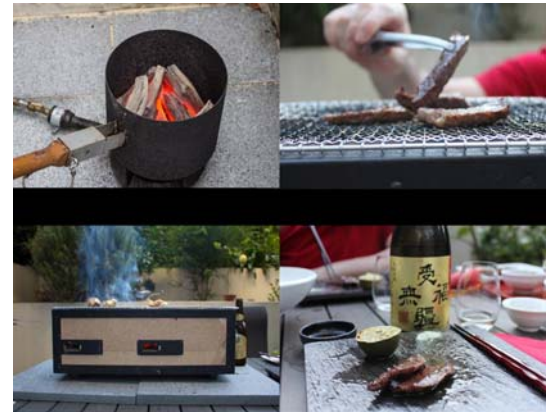
和包丁用砥石を海外の日本料理屋に出荷しているメーカーから依頼があったことがきっかけ (H27~)

4. 輸出実績

25ケース/月 (15kg/ケース)

【内訳】

- ・オーストラリア 20ケース
- ・カナダ 5ケース



紀州備長炭による火起こしの様子

5. 課題と対応

- ・紀州備長炭には伝統的な規格が存在するが、海外と規格概念が異なるため、上位の規格を代用した時にトラブルとなった経験あり。
- ・実際に使用されているエンドユーザーのフィードバックを知る体制を確立。

6. 今後の展開

- ・関西国際空港が近い立地条件を活かして、観光面における取組を強化していく。
- ・海外からの観光客を対象に体験プログラムを実施し、マーケットの拡大に努める。
- ・SNSを活用して世界に向けて紀州備長炭の魅力を発信。
- ・ユネスコ 無形文化遺産「和食」での炭文化を提案。

7. ウェブサイト

<http://www.sumikobo.net/>

8. 問合せ先

担当者名: 紀州炭工房 辻恒治(製炭士)
TEL:073-457-2462



窯出しの様子

25. タケノコ・野菜水煮をASEAN諸国へ (株)主計物産(福岡県)

- タケノコ等をASEAN諸国へ輸出。
- 国際規格FSSCとハラール規格認証に向け、ハード・ソフト両面から整備し、日本の大手商社との連携を協議中。

1. 主な製品

- ・水煮タケノコ
- ・筑前煮の素、豚汁の素(水煮野菜類)
- ・炊込みご飯キット(早や炊き加工米+具材)

2. 主な輸出先国・地域

- ・ASEAN諸国
- ・マレーシア、シンガポール
- ・タイ、ベトナム

3. 輸出取組の概要

安全で健康的な食品の世界的なニーズの拡大や来日観光客の増加による日本食の認知度向上などから、日本食及び日本産農産物や加工品がクローズアップされている。中でも、今後大きな経済発展が期待されるASEAN諸国については、日本食に関する飲食店や日本産農産物・加工品を取り扱う小売業の進出が活発化している。当社では、今後、市場の拡大が予想されるASEAN諸国で展開している日本食に関する飲食業並びに日本産農産物及び加工品を取り扱うサプライヤーやリテイラー向けに、福岡県産の良質な農産物を使用した加工食品を輸出販売する計画を進めている。



4. 輸出実績

- ・輸出先国: マレーシア(クアラルンプール)
- ・内容: 全10種類×50パック(総量500パック): テスト輸出

5. 課題と対応

課題1

賞味期限等への対応から小ロット・低コストでの物流の構築

対策1

既に香港・シンガポール・マレーシアへ毎週定期便を作り、青果物を輸出・販売している業者と連携し、青果物との混載にて輸送することを決定

課題2

輸出した商品の販売を行う現地販売先の調査・獲得

対策2

日本の業者で青果物の店舗を現地で運営・展開している業者と連携して販売に取り組む。安定した調達の可能な加工品であることから、相乗効果が期待できる。

課題3

輸出・販売を円滑にする国際的な品質規格・基準への対応と対象国の規制への対応

対策3

国際規格FSSCとハラール規格認証に向けて、ハード・ソフト両面から整備中。日本の大手商社との連携を協議中

6. 今後の展開

現在、マーケティングの一貫として試験的な輸出・販売を計画中。物流・売り場も確保できていることから、輸出先の情勢に合わせた商品づくりを行い、早期に商業ベースの輸出・販売に繋げる。

7. ウェブサイト

<http://www.kazue-inc.com/>

8. 問合せ先

株式会社 主計物産 主計・中島
TEL: 0943-30-1137

26. 県産きのこをアジアへ (株)オーダック(沖縄県)

- 沖縄県産きのこをアジアへ輸出。
- 年間を通して、需要の見込まれるアジア地域へ販路を開拓。
- 日本ブランドの「安全・安心」に加え、那覇空港のハブ化による空路輸送を活用し、「新鮮さ」をPR。

1. 主な製品

沖縄県産きのこ(えのきたけ、ぶなしめじ)

2. 主な輸出先国・地域

台湾、マレーシア、シンガポール、タイ

3. 輸出取組の概要

工場生産が可能な菌床きのこは通年栽培が可能であるが、国内において、生鮮きのこは「季節商品」としての傾向が強く、冬期に比べ夏季の需要が落ちこむことから、年間を通して需要の見込まれるアジア地域の販路を開拓し、県産きのこの需要拡大及び安定生産を図る。

4. 輸出実績

H27年度実績: 483,900kg

5. 課題と対応

【課題】

輸出先国の国内又は近隣国においてもきのこ生産は盛んで、巨大な生産規模や安価な労働力等による低コスト生産が可能であることから、価格競争では不利である。

【対応】

日本ブランドの「安全・安心」に加え、那覇空港のハブ化による空路輸送を活用した“新鮮さ”をPRし、価格よりも品質に重点を置いたプロモーションを行い、購買層の差別化を図っている。



工場で生産されたブナシメジ

6. 今後の展開

これまで培ってきた経験をもとに、輸出可能国・地域を的確に見極め、販路開拓を図る。

7. 活用した支援・施策

沖縄国際物流ハブ活用推進事業(航空コンテナスペース確保事業)

8. ウェブサイト

<http://www.odac.jp/>

9. 問合せ先

沖縄県 森林管理課 資源活用普及班 TEL:098-866-2295



タイの現地スーパーでの試食販売

(参考)

都道府県の取組

岩手県

1. 取組の概要・状況

- ・平成27年度は、県内の林業関係者等を対象に木材輸出に係る情報提供と機運醸成を図るため、「日本産木材輸出の拡大に向けた産地検討会：(一社)日本木材輸出振興協会主催」を盛岡市内で開催。
- ・平成28年度は、「高品質販路開拓支援事業(県単、1,555千円)」により、木材輸出に関するセミナー開催や、中国大連市の展示商談会における県産材PR等を支援。



日本産木材輸出の拡大に向けた産地検討会の様子

2. 輸出のターゲット

近年、国産材の輸入量が増加している中国、台湾、韓国等をターゲットとし、岩手県の特徴であるスギ、アカマツ、カラマツ、広葉樹等の多様な樹種による県産製材品の販路開拓を目指す。

3. 輸出に向けた取組の成果

- ・原木については、県内の港からバルク船により、中国等へスギ丸太を輸出する取組が出てきた。
- ・製材品について、県内の木材関係企業が中国向けに製品輸出を模索する動きが出てきた。

4. 今後の展開

引き続き、木材輸出に係る最新情報の収集やセミナー開催等による県内関係者の意識啓発を図るとともに、木材製品の輸出に先駆的に取り組む県内企業を支援していく。

5. 問合せ先

岩手県農林水産部林業振興課
TEL:019-629-5772

岐阜県

1. 取組の概要・状況

国産材の輸出量が増加傾向にあるアジア圏を中心に、付加価値の高い県産木材製品の輸出を推進するため、協議会を設置し県内事業者の活動を支援。

●岐阜県産材輸出推進協議会

- ・設立：平成27年3月20日
- ・会員：木材関係者、金融機関、関係団体等 41者

●活動内容

- ・木材輸出に向けた県内事業者の活動を支援（H28予算10,000千円）
- ・韓国展示会への出展、外国語リーフレットやDVDの作成
- ・韓国の建築士等を対象にした木造軸組住宅セミナーの開催



韓国展示会への出展

2. 輸出のターゲット

- ・当面は、ヒノキを主体に国産材の人気が高い韓国を中心に活動を展開。
- ・内装材や調度品など、付加価値の高い製品に加え、近年増加傾向にある木造軸組住宅を普及するため、セミナーや研修を通じて建築技術者の養成。



韓国で開催したセミナーの様子

3. 輸出に向けた取組の成果

- ・支援事業などにより、H27は7者、H28は9者が木材輸出に取り組み、韓国には県産材住宅が建設された。
- ・韓国の展示会に県内事業者が積極的に出展し、H28はジェトロのジャパンパビリオンの半分を県内事業者が占めた。
- ・韓国の工務店、設計士等で組織する「韓国木造建築技術協会」との連携を強化し、韓国国内で開催したセミナーでは約100名の参加者に木造軸組構法を普及した。



韓国華城市に建設された
県産材住宅

4. 今後の展開

- ・県内事業者の木材輸出の活動を支援するとともに、協議会において先駆者の実績や手法等を広く共有し、新たに輸出に取り組む事業者を増やす。
- ・海外から住宅建築関係者を岐阜県に招へいし、研修等を通じて技術者を養成するとともに、信頼できるパートナーを獲得する。
- ・海外で県産材をPRできる拠点整備を支援する。

5. 問合せ先

岐阜県県産材流通課県産材需要拡大係
TEL:058-272-8487

静岡県

1. 取組の概要・状況

・県産材輸出研究会の開催

県産材の輸出拡大に向け、平成24年度から県産材輸出研究会を設立し、木材輸出に関心のある県内企業と情報共有や意識醸成を図っている。

〈会 員〉製材、製造業、流通業、素材生産者や行政等 22者

〈平成27年度以降の取組〉

年度	開催回数	内容
H27	3	韓国輸出先進企業の取組把握(外部講師の招聘) 木材輸出の状況把握(外部講師の招聘) 中国・韓国展示会出展結果報告
H28	2	県と県産材輸出研究会が台湾市場調査を実施 現地ニーズを共有

・関連事業(平成27年度以降)

年度	事業名	予算額 (輸出関連分)	内容
H27	県産材輸出 促進事業	1,057	2015緑色建築建材博覧会出展(中国) キョンヒャンハウジングフェア2016出展(韓国)
H28	県産材販路 拡大事業	750	台湾市場調査の実施

2. 輸出のターゲット

〈中国〉独創性・新規性の高い製品など

〈韓国〉ヒノキ内装材及び独創性・新規性の高い製品など

〈台湾〉ヒノキ内装材など

3. 輸出に向けた取組の成果

〈中国〉商社との調整を始める企業が出てきた。

〈韓国〉3社が現地代理店を設け、販路拡大に取り組んでいる。

4. 今後の展開

- ・平成29年度は、台湾に向けた販路拡大に取り組む。
- ・台湾に向けては、品質が高い県産材製品の利用方法を工夫して提案していく。

5. ウェブサイト

・youtubeで静岡県産材を紹介中(韓国語)

https://youtu.be/-bgcB4V_mqg

6. 問合せ先

静岡県経済産業部林業振興課県産材利用班

TEL:054-221-2691



2015緑色建築建材博覧会出展(中国)
日本木材輸出振興協会のジャパンブースに出展



台湾市場調査
(日本木材輸出振興協会主催 台中商談会)

三重県

1. 取組の概要・状況

- ・ 中国等における木材需要の増加、韓国におけるヒノキブーム等を背景として取組を実施。
- ・ 平成26年3月に三重県農林水産物・食品輸出促進協議会の設立。
- ・ 県産材輸出促進事業
予 算 額: H27年度2,570千円、H28年度1,006千円
事業内容: 上記協議会の行う取組に対する支援
輸出用原木の選別・仕分け経費に対する補助



コンテナでのヒノキ原木の輸出

2. 輸出のターゲット

中国、台湾、韓国を輸出対象国とし、良質材の産地として、A材や付加価値の高い製品の輸出促進に向けて取組を実施。

3. 輸出に向けた取組の成果

- ・ 県産材輸出促進事業などにより、県内の事業者2社が輸出用原木の供給を実施。
- ・ 協議会による木材輸出セミナーの開催。
- ・ 海外における木材需要調査の実施。



刻印により良質材産地として認知を図る

4. 今後の展開

県産木材の輸出品目は、原木が中心となっており、今後はより付加価値の高い製品の輸出に向けて取組を進めていく。

5. 問合せ先

三重県農林水産部 森林・林業経営課 林業経営班
TEL: 059-224-2563

奈良県

1. 取組の概要・状況

【H27年度】

- ・東アジアのマーケットリサーチ
→ 現地展示会に合わせて市場調査を実施
(中国、台湾、韓国)
- ・欧州で開催される大規模な見本市への出展助成



H27 海外マーケットリサーチ
(左から中国、韓国、台湾)

【H28年度】

- ・奈良県の実情に応じた海外販路開拓手法の検討
→ 専門家(アドバイザー)の登用
県内事業者と国内商社とのマッチング
- ・意欲のある事業者の掘り起こし
→ 木材輸出に特化したセミナーの開催



H28 奈良県木材海外販路開拓
セミナーの開催

2. 輸出のターゲット(品目・強み)

- ・品質の高い内装材、加工品(家具・テーブル板等)
→ 吉野材を代表とする奈良県産材は、色味が綺麗で節が少なく、年輪幅が均一で細かいことから強度に優れる。
- ・環境と調和した持続可能な人工林をPR
→ 500年の歴史を持つ吉野林業 (特に、歴史・文化に関心の高い欧州に対して効果的)

3. 輸出に向けた取組の成果

【H27年度】

- ・木材輸出の現状・課題を把握
→ 契約、商習慣の相違、木材のニーズ等
- ・メゾン・エ・オブジェ(フランス)に出展
→ 吉野材の家具のPR及び販売

【H28年度】

- ・県内事業者の海外販路開拓に向けた機運の高まり
→ アドバイザー及び国産材輸出に成功した事業者を講師に迎えたセミナーに130名が参加。



H27 メゾン・エ・オブジェ(フランス)出展の
様子

4. 今後の展開

- ・アドバイザーの指導・助言を軸とした海外販路開拓手法の検討(継続)
- ・海外のバイヤー、現地木材企業、建築関係者等とのネットワークの構築
- ・県内事業者からのニーズが高い海外の木材マーケットの情報収集支援

5. ウェブサイト

奈良県公式ホームページ : <http://www.pref.nara.jp/27678.htm>

6. 問合せ先

奈良県農林部 奈良の木ブランド課 総務・流通拡大係
TEL : 0742-27-7470 FAX : 0742-27-2070

岡山県

1. 取組の概要・状況

岡山県は平成24年から4年連続ヒノキの素材生産量が日本一であり、年々、利用可能な資源量は充実している。一方、国内においては人口減少に起因する住宅着工戸数の減少に伴う木材需要の低迷が懸念されることから、新たな木材需要の創出を目的に、木材の輸出に取り組む木材産業関連団体の取組への支援を行っている。

【平成28年度県産ヒノキ販路開拓支援事業】

- ・事業主体：(一社)岡山県木材組合連合会 [正会員：18社、特別賛助会員：4市町]
- ・活動内容：中国、韓国への展示会出展を通じた県産製材品のPR及び商談・セミナー等の開催
- ・県補助額：8,768千円
- ・事業主体：津山市 (実施主体：美作材輸出振興協議会 [会員：17社])
- ・活動内容：韓国でのアンテナショップ設置・運営を通じた県産製材品のPR及び商談
- ・県補助額：2,500千円



副知事によるトップセールス



アンテナショップ内観



韓国展示会出展状況

2. 輸出のターゲット

木構造設計規範の改正による日本産木材の需要創出が期待される中国及び健康志向の浸透に伴い、内装材・家具等においてヒノキ人気が高まっている韓国を対象に、より付加価値の高い県産ヒノキ製材品の輸出に向けた取組を行っている。

また、台湾など新たな販路開拓の取組を行うべく、継続した情報収集を行う。

3. 輸出に向けた取組の成果

木材産業関連団体が取り組む海外の展示・商談会への出展やセミナー開催に対する支援により、新たに輸出を開始する企業が現れており、展示会への新規出展企業や商談会への参加企業が増えるなど輸出に対する関心の高い企業が増えつつある。

また、今までの支援の成果から、より実践的な情報収集や販路開拓の取組を強化するため、木材産業関連団体が取り組む韓国におけるアンテナショップ出店へも支援を行っており、相手国のニーズを反映した輸出量の増加が見込まれている。

4. 今後の展開

特にヒノキに対する人気が高い韓国を対象としたカタログ・PR動画の作成、現地での市場調査やバイヤーへのアンケート調査などを実施し、岡山県産ヒノキの知名度の向上及び現地のニーズへの対応を図ることとしている。

5. ウェブサイト

<http://www.pref.okayama.jp/page/487663.html>

6. 問合せ先

岡山県林政課 TEL:086-226-7452

徳島県

1. 取組の概要・状況

県産材増産に対する新たな需要を創出するために、平成28年度には、国立台湾科技大学(台湾台北市)キャンパス内のインフォメーションセンターの新築にあたり、台湾への県産材輸出拡大におけるパートナー企業と連携し、県産材と徳島の大工・建具技術のセット輸出を行った。

当大学では、台湾における木造建築復権の取組として、日本の木造建築技術を取り入れ、技術者の育成に取り組んでおり、建築現場において学生や建築関係者に対し、木造建築技術の伝承に向けた技術講習会を併せて行い県産材をはじめとする徳島県の魅力発信を行った。

整備された施設は「県産材ショールーム」として位置付けており、これまでに、台湾の他、韓国、シンガポールに整備済み。
※活用事業:H27地方創生加速化交付金(国10/10)



県産材ショールーム

2. 輸出のターゲット

東・東南アジア地域(韓国・台湾・シンガポール)における木造住宅(内装含む)



大工による技術講習会in台湾

3. 輸出に向けた取組の成果

常設の「県産材ショールーム」が整備され、海外における県産材情報発信・交流拠点が確保できた。

4. 今後の展開

これまでに整備された「県産材ショールーム」の活用を図るために、「徳島ならではの」県産材製品等を施設内に常設展示し、体感型施設として利用を促進させるとともに、県産材の魅力発信に向けたシンポジウムを開催し、「徳島ブランド」ファンの獲得を狙うとともに、各国ニーズに応じた販売促進活動を支援する。

5. ウェブサイト

現在、開設中(とくしま木づかい県民会議HPに掲載予定)

6. 問合せ先

徳島県木材協同組合連合会(県産材輸出サポートセンター総合窓口)

TEL:088-662-2521/FAX:088-662-2224

徳島県農林水産部林業戦略課新次元プロジェクト推進室 木材需要担当

TEL:088-621-2484/FAX:088-621-2861

愛媛県

1. 取組の概要・状況

- ・愛媛県では、少子化等の要因により国内の木材需要が減少することが予測される中、将来の有望な市場として平成25年度から製材品の海外輸出に取り組んでいる。
- ・国内の販路開拓に実績のある「愛媛県産材製品市場開拓協議会」(構成員:業界団体2・製材工場等13社)と連携し、海外の展示会の出展や現地営業担当者を活用した営業活動を展開している。
- ・県では、「県産材輸出支援事業(予算額15,026千円)」により、海外の展示会出展や営業活動経費、邸別プレカット材や内装材の輸出経費について支援を行っている。

2. 輸出のターゲット

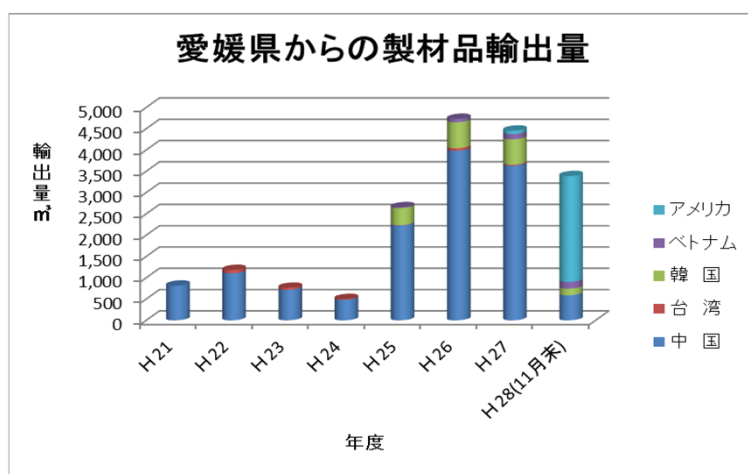
- ・対象国:中国・韓国・台湾
- ・輸出品目:構造材・内装材等の製材品及びプレカット加工材
- ・利点:県内への経済波及効果を高めるため、丸太より加工度の高い製材品等を輸出している。



ヒノキ原木に係る商談の様子

3. 輸出に向けた取組の成果

- ・支援を始めた平成25年度から県内製材品の輸出量が大きく伸びている。
- ・輸出先の要望量に応えるため、複数の製材会社が連携し、同サイズの板材を生産し、乾燥専門工場で仕上げる共同出荷体制が構築されている。
- ・県内企業が、商社等と連携し、新たな海外ユーザーに対し試験的輸出を指向するなど木材輸出に対する気運が高まっている。



4. 今後の展開

今後は、経済成長の著しい東南アジアや旺盛な木材需要が見込まれる北米地域に対して、新たに市場調査や営業活動を推進するとともに、木造住宅を指向する国に対して、軸組工法による木造住宅の普及・PRを強化することとしている。

5. 問合せ先

愛媛県 農林水産部 森林局 林業政策課 木材流通戦略係 真鍋
TEL:089-912-2589 FAX:089-912-2594
E-mail:manabe-fumiya@pref.ehime.lg.jp

高知県

1. 取組の概要・状況

- ・協議会の設置状況
土佐材流通促進協議会 会員:40社、団体(内輸出部会:14社、団体)
- ・取組の背景・経緯
県産材の外商対策を積極的かつ効果的に展開し、県産材の県外市場への販売量拡大を目的として設置した土佐材流通促進協議会に、県内事業体の輸出に向けた取組を推進するための輸出部会を設置し、県の支援事業を活用した取組を展開。
- ・輸出に向けた取組・支援
高知県県産材輸出促進事業 (H27: 4,100千円)
事業内容 同協議会及び構成員が行う、営業商談、バイヤーの招へい、輸出仕様製品の開発及び試作品の出荷への支援。



韓国での商談会

2. 輸出のターゲット

- ・対象国
韓国・台湾・ベトナム・フィリピンなど
- ・輸出を促進しようとしている製品
県内で加工された製材品、家具・建具の木製品木工製品等

3. 輸出に向けた取組の成果

- ・取組
県支援事業を活用し、平成28年度(12月末まで)に県内の12事業体が海外57事業体と営業商談・バイヤー招へいに係る事業を展開(事業ごとの集計のため事業体数は一部重複有り)。
- ・成果
輸出先国にて営業商談を行ったところ、事業期間中に1件の商談が成立(そのほか、見積り依頼など複数)。

4. 今後の展開

- ・営業、商談等支援の事業の継続
- ・協議会による海外木材見本市への出展
- ・海外PR物件への支援 など

5. ウェブサイト

高知県 林業振興・環境部 木材産業振興課
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/>

6. 問合せ先

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号
高知県 林業振興・環境部 木材産業振興課
販売促進担当 中城・二宮
TEL :088-821-4858 FAX :088-821-4594



台湾バイヤーの招へい

福岡県

1 取組の概要・状況

- ・ 生産量の少ない福岡県、佐賀県、長崎県の3県で連携し、3県の中心に位置する、伊万里港からの輸出に取り組む。
- ・ 輸出向け木材のロットの確保と安定供給に取り組み、現地バイヤーに対する価格交渉力の向上を実証し、県産材の輸出拡大を図るもの。
- ・ 福岡県では、国内輸送費に対する支援を実施。

[事業名] 県産材輸出促進対策事業

[事業主体] 福岡県産材輸出促進協議会
(県内の森林組合等から成る協議会を設置)

[目標量] 3,700m³/年

[事業期間] 平成27～29年度

[事業費等] 3,112千円
(協議会の取り組む輸出に対し、700円/m³を補助)



伊万里港における原木集積状況

2 輸出のターゲット

[輸出先国] 中国、韓国

[樹種] スギ、ヒノキ(原木丸太)

[材の規格等]

- ・ 中国向けに、C材を輸出(パレット材、梱包材等の需要)
- ・ 韓国向けに、B材を輸出(内装材、家具材等の需要)

3 輸出に向けた取組の成果

- ・ 3県で連携した輸出向け木材の出荷を行うことで、ロットの確保と安定供給が図られている。
- ・ 輸出による収益は山元へ還元され、森林組合においても販路の1つとして位置づけが成されるなど、気運の醸成につながっている。



伊万里港における原木積込状況

4 今後の展開

- ・ 引き続き、ロットの確保と安定供給を図るため、3県連携による木材輸出に取り組み、価格交渉力向上の実証を図る。
- ・ 輸出先国における日本産木材への志向や現地実需者のニーズの把握に努める。
- ・ 中国における良質材や、韓国におけるスギ材利用の需要開拓を図る。



原木のバルク船への積込状況

5 問合せ先

福岡県農林水産部輸出促進課 中川 TEL:092-643-3525

佐賀県

1. 取組の概要・状況

・平成26年9月、九州北部3県(福岡、佐賀、長崎)が連携することにより、木材輸出や大型工場、木質バイオマス発電施設への大ロット出荷や安定供給の可能性などを研究する「FSN原木出荷連携に向けた研究会」を立ち上げ、輸出の可能性や課題を整理検討し実践する。

・協議会の設置状況

[名称]FSN原木出荷連携に向けた研究会

[主な構成員]福岡県、福岡県森林組合連合会、佐賀県、佐賀県森林組合連合会、長崎県、長崎県森林組合連合会



FNS原木出荷連携に向けた研究会、取材を受けている様子

2. 輸出のターゲット

中国(スギ・ヒノキC材)、韓国(ヒノキB材)



材積み込み状況

3. 輸出の実績

県名	H26	H27	計
福岡県	0m ³	1,102m ³	1,102m ³
佐賀県	42m ³	0m ³	42m ³
長崎県	20,338m ³	17,192m ³	37,530m ³
計	20,380m ³	18,294m ³	38,674m ³

※H28.4月～H29.1月末現在 1,555m³(佐賀県分)

・中国(スギ・ヒノキC材) 1,084m³

・韓国(ヒノキB材) 471m³

4. 今後の展開

丸太だけではなく、付加価値のある製材品についても輸出を検討。

5. 問合せ先

【担当者】佐賀県 農林水産部 林業課 林産振興担当 下田 TEL:0952-25-7133

長崎県

1. 取組の概要・状況

①長崎県地域材供給倍増協議会

- ・県内川上から川下までの関係者54者からなる協議会
- ・県産材の流通・需給マッチングを行う協議会として、平成26年6月に発足。輸出に関して、共同出荷の調整などを行っている。

②FSN(福岡・佐賀・長崎)原木出荷連携に向けた研究会

- ・発足のきっかけ:九州北部三県は南九州に比較し素材生産量も零細。中国や韓国などの木材需要の拡大に伴い、輸出ロットの拡大は必須であるため、三県の関係者の連携を促進するため研究会を立ち上げた。
- ・研究会のメンバー:福岡県、佐賀県、長崎県
福岡県、佐賀県及び長崎県の県森林組合連合会

③輸出に向けた県の支援

- ・海外フェア等への製材品の出展経費補助(製品輸送費補助)
- ・補助率:実費



積み込み、出荷状況



三県連携研究会

2. 輸出のターゲット

中国:丸太

韓国:丸太、製材品(ラミナ)

3. 輸出に向けた取組の成果

韓国最大の住宅フェア、「キョンハンハウジングフェア」にこれまで県内3社が製品を展示・PR。具体的な商談は成立しなかったが、県産ヒノキ製品の普及に繋がった。

4. 今後の展開

- ・中国、韓国に次ぐ輸出相手国として、ベトナムをターゲットとして、事業者と合同で現地需要調査、商談を実施予定。
- ・製材品の輸出拡大を図っていく。



「キョンハンハウジングフェア」
製品展示

5. 問合せ先



〒850-8570
長崎県長崎市江戸町2-13
長崎県農林部林政課計画調整班
TEL:095-895-2983 FAX:095-895-2596

熊本県

1. 取組の概要・状況

<取組の背景・経緯>

- ・ 県産木材(特に製材品)の輸出促進を図るに当たっては、各国における住宅環境の違いによる『規格の違い』や『現地での大きな価格差』などが大きな課題となる。
- ・ 一方、日本食ブームや来日観光客の増加などを背景に、食品だけでなく、建築を含めた『日本文化』への関心が高まる中、熊本県においては、県産木材や県産畳表を使用した『和室』としての輸出促進を図るため、アジア諸国における『和室』輸出の可能性について平成28年度から調査している。

<取組の概要(平成28年度)>

- ・ 海外展示会出展による、マーケット調査
- ・ クルーズ船寄港客に対するニーズ調査
- ・ 試験輸送による検疫等課題検証 など



H28.12.15~18

台北ビルディングショー出展

2. 輸出のターゲット

<ターゲット国>

- ・ 東アジア地域(中国・台湾・香港)及びASEAN地域

<ターゲット層>

- ・ 富裕層のマンション及び高級ホテル(リフォーム・和室キット)
- ・ 商業施設及び飲食店(内装)

3. 事業実施上の課題

- ・ 「和室」の輸出を行う上での各国の規制(検疫等)対策及び高関税
- ・ 現地の需要家(輸入業者・デベロッパー・建築士など)とのネットワーク構築
- ・ 現地での施工管理・労務の確保
- ・ 熊本地震の影響による地元の大工不足



クルーズ船寄港客に対する
ニーズ調査

4. 輸出に向けた取組の成果

- ・ 中国向け、台湾向け、香港向け、それぞれ県内事業者のグループが構築されるとともに、現地需要家(輸入業者、デザイナー等)とのネットワークが構築でき、海外展開に向けて調整を行っているところ。

5. 今後の展開・対策

<県内事業者がチャレンジしやすい環境づくり>

- ・ 1事業者では収集できない各国の情報収集や検疫等の課題を整理し、県内事業者への情報発信を行う。

<県内事業者間の連携強化及び産地体制づくり>

- ・ 木材及び建築、畳、建具等複数の産業間の連携が不可欠であることから、県内事業者間のネットワーク強化と海外展開に向けた産地体制づくりを推進する。

<「熊本県政府」としての海外ネットワーク構築>

- ・ 「熊本県(地方政府)」として参画することで、海外需要家との信頼関係を構築し、「和室」の海外展開に必要なネットワークを構築する。

6. 問合せ先

熊本県農林水産部森林局林業振興課

くもと木材利活用推進班 担当:大和・鳥居(TEL:096-333-2446)

大分県

1. 取組の概要

《製材品》について

- ・ 輸出に取り組む業者数 4社
- ・ 九州材販路開拓事業 事業費6,000千円(H28)にて、次の助成を行っている。
 - ① コンテナ輸送に係る経費の一部を補助
 - ② 海外の展示会への出展経費の一部を補助

《素材(丸太)》について

- ・ 「大分県スギ丸太等海外輸出促進協議会」を設立(H20)
(木材関連業者、森林組合等)
- ・ 中国向け輸出への燻蒸経費の補助など(上記事業でH27まで)

2. 輸出に向けた取組の成果

《製材品》について

H27から韓国向け輸出に取り組む業者があり、輸出量は増加した。

	(m ³)	
輸出先	H26	H27
韓国	3	788
フィリピン	1,885	1,924
その他	0	50
計	1,888	2,762

《素材(丸太)》について

主に中国の需要が旺盛なため、輸出量は増加している。

	(m ³)	
輸出先	H26	H27
中国	47,308	56,284
その他	4,101	2,019
計	51,409	58,303

3. 今後の展開

《製材品》について

H29も引き続き九州材販路開拓事業にて、次の助成を行う。

- ・ コンテナ輸送に係る経費の一部を補助
- ・ 海外の展示会への出展経費の一部を補助
- ・ ジェトロと共同し研修会を開催



丸太輸出(バルク船搬入状況)

4. 問合せ先

大分県農林水産部林産振興室木材振興流通対策班
担当 松本
TEL:097-506-3833

宮崎県

1. 取組の概要・状況

- ・丸太の輸出だけでなく、より付加価値の高い製品の輸出を進めるため、住宅の部材利用が進むよう材料と建築構法を合わせた「材工一体」のパッケージとして、相手国の建築士や工務店の関係者に普及を図る必要がある。
- ・輸出に向けた取組・支援として、韓国での木造軸組構法の普及を図るため、県単独事業で県産材海外輸出トライアル推進事業（10,866千円）に取り組んでいる。



県産材を使用した韓屋（韓国ソウル）

2. 輸出のターゲット

韓国では伝統家屋として韓屋（ハノク）と呼ばれる軸組構法に近い建築様式があり、木造軸組構法に親和性があるため韓国をターゲットにしている。さらに、より付加価値の高いプレカットされた部材は、建設工期の短縮などコスト削減に寄与する。

3. 輸出に向けた取組の成果

構法を普及させるため、韓国国内4箇所でも木造軸組構法入門セミナーを開催し、総勢500名を超える聴講を得た。そのうち、さらに詳しい現場状況など学ぶため2月に宮崎県内で実務的な研修を実施。



韓国建築技術者への研修状況（H29.2.16）

4. 今後の展開

韓国で得た知見や相手国のニーズを基に、「材工一体」による木造軸組構法の普及等を進めることで、今後、台湾、中国、ベトナムなどへ展開を図る。

5. 問合せ先

宮崎県環境森林部山村・木材振興課
みやざきスギ活用推進室 木材利用拡大担当 田中・戸田
TEL: 0985-26-7156 / FAX: 0985-28-1699

鹿児島県

1. 取組の概要・状況

森林資源の充実に伴い、素材生産量の増加が見込まれる中、当県は、中国等東アジアに近く、また国際物流拠点である「志布志港」を有する等地理的優位性から、木材輸出を木材利用の重要な手段のひとつとして位置づけ、早くから輸出体制の整備等に取り組んでいる。

平成20年度から、輸出拡大に向けた各種取組に対して支援を行うとともに、平成23年には、県森林組合連合会等9団体により構成される「鹿児島県産材輸出促進協議会」を設立し、輸出関係者の情報共有及び連携強化を図っている。

[県産材輸出拡大支援事業]

(H28予算額)4,788千円

(補助率)協議会:定額, 輸出支援:1/2以内

(事業内容)鹿児島県産材輸出促進協議会の活動支援及び輸出関係事業者の商談経費等の一部助成



志布志港第2突堤



志布志港でスギ原木がバルク船に積み込まれる様子

2. 輸出のターゲット

・相手国

木材需要の旺盛な東アジア地域(中国, 韓国, 台湾)

・利点

中国等に近いという地理的優位性に加え、志布志港を有するため木材輸出に適したバルク船をチャーターしやすい。また、豊富な森林資源を有するとともに、隣県を含め広域的な集荷が可能であり、短期間に集荷、輸出することで流通コストを抑えられる。



ヒノキ原木がコンテナに積み込まれる様子

3. 輸出拡大に向けた取組の成果

平成27年度の県産材輸出量は87千 m^3 となり、輸出量は平成21年度の3千 m^3 から約30倍に増えた。

また、県産材を輸出する業者も平成21年度3者から平成27年度は14者に増えた。

(輸出量、輸出業者数は鹿児島県調べによる)

4. 今後の展開

現在は、土木資材や梱包に使用されるスギ原木(低質材)の輸出が大半を占めるが、今後は、付加価値の高い良質材等の輸出拡大を図ることとしている。

また、県産材の認知度向上及び更なる輸出拡大を図るため、県産材の輸出に積極的に取り組む輸出関係事業者を「鹿児島県産材輸出サポーター」として登録(平成29年2月末現在:17社)し、輸出に関する情報の共有を図っており、今後も輸出拡大に向けて連携強化を図っていくこととしている。

5. 問合せ先

鹿児島県環境林務部かごしま材振興課木材利用推進係 TEL:099-286-3366



連絡先: 林野庁 林政部 木材利用課 需給情報班

住所: 〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

直通: 03-6744-2299

本資料は、以下の林野庁のホームページに掲載しております。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>